

別冊

おいしいだものがたり

■駒籠楯跡発掘調査の成果を紹介します

普段この小欄は資料館で展示中の資料の紹介ですが、今回は先月行った駒籠楯跡発掘調査の成果を紹介したいと思います。先日開催した現地説明会の内容と重複する部分はご了承ください。

駒籠楯跡は平成9年・10年度に町が範囲確認のための試掘調査を行い、平成19年度から県が本格的な発掘調査を開始しました。平成25年度からは町が主体となり、ほぼ毎年調査を行っています。今年度は10月4日から25日までの14日間で南北20m×東西20mの約400㎡を調査しました。

今回見つかった遺構で目玉となるのは、調査区の西側（下図左側）に検出された南北9.7m×東西8.7mという大型の竪穴建物です。角二山遺跡に復元されている縄文時代の竪穴式住居は直径が2～3m程度なので、今回のものの巨大さがわかるかと思えます。時代が下ると大型になるかといえばそうでもなく、駒籠で過去に見つかっている複数の古代（奈良・平安期）の竪穴建物もほとんどが2～3m四方です。つまり一般的に人が数人で暮らす建物の規模はこのくらいのサイズだったのでしょうか。そうすると、今回のような超大型の竪穴建物の主は一般人ではなかったということになります。

竪穴式住居といえば縄文時代がイメージされますが、中世頃まで床張りの建物は貴人の邸宅か儀礼の場（寺社など）で、庶民の家は専ら竪穴式でした。この大きな建物も庶民の家ということになりますが、中でもとりわけ力を持つ、いわばこの地域の邑長（ムラオサ）クラスの家を想定できるのではないのでしょうか。

この巨大な竪穴建物は、建物の向きや出土遺物から、奈良時代頃のものと考えられます。それはちょうど水駅「野後駅」が作られた時期とみられ、今回の大型竪穴建物は、その野後駅創設や運営に関わる役割を持った人物のものではないかとも考えられます。



資料館では現在「鉄道開通 120 年 大石田河岸の隆盛と終焉」を開催中です。(1/30 まで)



大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報などを
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします!

登録方法

右のQRコードを読み
取って友だちに追加
してください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時（夕方6時のメロディ等）放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ TEL35-2111（内線218）

町の人口 令和3年11月1日現在

世帯数	2,286 戸	(-6)
総人口	6,555 人	(-24)
男	3,237 人	(-11)
女	3,318 人	(-13)

(10月中の異動)

出生	3 人	転入 1 人
死亡	8 人	転出 20 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。